

# 令和5年度予算案を審議

## 一般会計予算額は856億1300万円



予算審査特別委員会の様子

令和5年度一般会計予算については、7人で構成する予算審査特別委員会が2月27日に設置され、3月7日から9日、および13日の4日間にわたり審査が行われました。その後、3月22日の本会議において、賛成多数をもって原案のとおり可決されました。本会議における一般会計予算に対する、各会派等の意見は次のとおりです。

理由は、①物価等高騰対策の欠如です。国・県と市の役割発揮が期待されています。一方、前年度比9割の予算を削減し、市民1人当たりでは、わずか280円。「くらしと営業を守る気」ゼロと言います。②命の軽視です。病床不足は認めながら、脆弱な市内救急医療機関委託費・負担金は7400万円で、単価の見直しもありません。観光予算の5割弱に留めたことは、優先順位に留めたこと、最低1億1千万円弱(市税の0.3%)増額し、受け入れ体制を維持

子どもたちの1年間はあっという間に過ぎていきます。特にコロナ禍の3年間で中学生や高校生は卒業してしまっています。だからこそ、子どもたちのために優先的に税金を支出し、良質な環境を提供することを要望します。次に、環境への配慮、特にCO<sub>2</sub>排出削減のため、できることに早急に取り組み姿勢が大切です。また、市民活動を活性化して多くの市民を巻き込み続けることや、今後本市においても間違いなく進んでいく高齢化に伴って、免許を返納しても交

持・充実すべきです。③福祉が良くなっています。超高齢化社会のもと、老人福祉費は前年度比600万円減額され、福祉の増進に至っていません。④市職員が不足しすぎています。市民千人当たりの職員数が県下最少の本市を柏市並みにすると、800人増員となります。職員不足は、不登校や児童虐待への対応、救急隊や保健師・土木・建築技師などの専門職、一般事務にまで影響しており、健康的な働き方や、業務の継承などに課題があります。

通手段に困らないよう、公共交通の整備をすることを要望します。空き店舗活用事業などの商工振興については、その店や会社をスタートさせることだけではなく、長く続けられるように支援することを要望します。令和5年度は、3年間中止となっていた流山花火大会も実施される方向で検討が進んでいるようで、明るい年になりそうです。最後に、今後ますます市民に喜ばれる流山市政であり続けることを要望し、賛成とします。

### 反対

### 日本共産党

### 各会派等の意見表明

予算審査特別委員会の委員長報告・議決結果などの詳細は、市議会ホームページをご覧ください。

こちらからご覧ください



流山市議会  
予算審査特別委員会

検索

〔予算審査特別委員会〕			
委員長	石原 修治	委員	中川 弘
副委員長	楠山 栄子	委員	小田 桐
委員	西尾 段	委員	青野 直
委員	斉藤 真理	委員	直

### 賛成

### 流政会

令和5年度一般会計予算では、小中学校の整備や移転をはじめ、一般廃棄物処理施設の延命化事業、中央消防署の移転などの大規模事業の実施に伴い、856億1300万円と過去最大の予算規模となりました。これらの事業に備えて、「教育、文化及びスポーツ振興基金」をはじめとして、各特定目的基金からの繰入金を活用し、会計の負担を軽減していることが、4日間の質疑などを通して確認できました。総括質疑では、①令和5年度一般会計予算と流山市自治基本条例との整合性、②児童生徒の登下校時と校内での安全確保、③障害のある子どもに寄り添った教育の実現、④教員不足を補うための効果的な対応と、令和5年度における不登校児童・生徒への対応、⑤後期高齢者の移動支援と医療・介護の充実、⑥地域資源を生かしたツーリズムの充実、以上の事項などについて質問しました。今後も限られた財源を効率的・効果的に活用し、健全財政維持に努めることを確認していきます。

### 賛成

### 流山みらい

議会共通指摘要望 (全13項目) 令和5年度一般会計予算における全会派一致の議会共通指摘要望は以下のとおりです。

政策	共通指摘要望	政策	共通指摘要望
安心・安全で快適に暮らせるまち	(1) 救急救命士養成事業においては、本市の救急体制に即した救急救命士の定員充足に向けて努力されたい。	賑わいと魅力のあるまち	(1) グループ提案型売上アップ・プロジェクト応援事業については、物価高騰に直面する市内事業者へさらなる支援拡充と周知の強化を図られたい。
生きがいを持って健康・長寿に暮らせるまち	(1) 若年の末期がん患者への支援については、対象者への周知強化を図られたい。 (2) HPVワクチンの定期接種に新たに9価ワクチンが加わったことについて、わかりやすい説明と共に対象者への個別通知を実施されたい。		(2) 空き店舗有効活用事業について、新たにチャレンジする事業者の補助として広く知れ渡るよう周知広報に努められたい。
良質な住環境のなかで暮らせるまち	(1) 交通不便地域における移動手段の確保については、地域住民と市の共働で課題解決に取り組まれたい。	誰もが自分らしく暮らせるまち	(1) 障害者成年後見申立事業については、十分な周知を図るとともに、成年後見制度のさらなる利用促進を図られたい。
	(2) 地域公共交通活性化事業では、グリーンバス、民間バス・鉄道などと連携し、利便性向上を図られたい。	子どもをみんなで育むまち	(1) 不登校児童生徒への対応を含む教育研究企画室の職員体制について、専門人材を拡充し、急増する不登校児童生徒に対する実効性のある対応をされたい。
	(3) 流山市が「ゼロカーボンシティ」を表明したことについては、市民や事業者へ積極的に周知し、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロに向けての地球温暖化対策を加速されたい。		(2) 流山市部活動支援事業について、児童生徒の安全等に努められたい。
令和5年度歳入歳出予算書は、流山市のホームページをご覧ください。		体系外 (市総合計画における6本の「まちづくりの基本政策」以外に分類される事務事業)	(1) 生活保護ケースワーカーや保健師、土木建築技師の増員を図られたい。 (2) 全庁LAN整備事業で導入するPCのスペックについて、業務内容に合わせて検証されたい。

令和5年度歳入歳出予算書は、流山市のホームページをご覧ください。  
令和5年度予算 流山市 検索



https://www.city.nagareyama.chiba.jp/information/1008311/1008338/1038913/1038916.html